

2023年度 環境経営レポート

作成日：2023年12月31日
(対象期間 2022年10月1日～2023年9月30日)

株式会社 高館組

目 次

P1	-----	I 環境経営方針	
P2	-----	II 組織	
		III 対象範囲	
P3	-----	IV 環境経営目標	
		IV-1 負荷の自己チェック結果表(過去3カ年実績推移)	
P4	-----	IV-2 環境経営目標	
P5	-----	V 2023年度環境経営目標・取組結果とその評価	1~2
P6	-----	V 2023年度環境経営目標・取組結果とその評価	3~11
		VI 実施体制	
P7	-----	VII 環境経営計画	
P8	-----	VIII 自己点検チェック結果	
P9	-----	IX 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び	
		評価の結果並びに違反・訴訟の有無	
		X 代表者による全体の評価と見直し・指示結果	

I 環境経営方針

環境経営方針

■基本理念

当社は、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」を事業活動につなげ、環境負荷低減の取り組みを推進させ、顧客及び地域社会に貢献する。

■行動指針

1. 事業活動における環境負荷低減を図るため、次の事項を重点的に取組む。
 - (1) 建設廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルの推進
 - (2) 環境負荷低減のための施工推進(水質汚染・騒音・振動・粉塵等)
 - (3) 適性使用による水使用量の削減
 - (4) 創意工夫による二酸化炭素排出量の削減
 - (5) 主な資源等使用量の把握
 - (6) 化学物質の使用量の把握及び適正管理
2. 事業活動において適用される環境関連法規などを遵守する。
3. 環境負荷低減を図るため、定期的に見直しを行い、継続的改善に努める。
4. 環境経営方針を全社員に周知し、環境負荷低減に対する意識の向上を図る。

なお、環境経営レポートは公表し、事務所に備付けて一般の閲覧を可能にする。

改訂 2021年10月1日

制定 2008年12月1日

株式会社 高館組

代表取締役社長 **高館 徹**

II 組織

1. 事業所名

株式会社 高 館 組

2. 代表者名

代表取締役社長 高 館 徹

3. 所在地

本社：新潟県上越市西本町2丁目1番5号

機材倉庫：新潟県上越市春日新田4丁目2-24

第2駐車場：新潟県上越市西本町2丁目20番（無人）

第3駐車場：新潟県上越市西本町1丁目208番（無人）

黒井社有地：新潟県上越市大字黒井字大割2837番1（無人）

西本町1丁目駐車場：新潟県上越市西本町1丁目22番13（無人）

4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 安全機材部長 渡部 義夫 TEL025-543-3425

事務局 常務取締役 小出 秀樹 TEL025-543-3425

5. 事業の内容

建築物の設計・施工、土木構造物の施工、不動産管理賃貸業務及び保険代理業務

6. 事業の規模等

許可内容・期限 特定建設業 新潟県知事許可 第10125号 許可年月日 令和4年6月21日

売上高 2,927百万円（2022年10月～2023年9月）

工事件数 85件

従業員 65人

事務所床面積 1,172.92㎡ 駐車場倉庫床面積 327.14㎡

機材倉庫床面積 868.51㎡ 駐車場面積 2,140.67㎡

事業年度 前年10月より当年9月までが当社の事業年度

III 対象範囲

「全組織・全活動」

レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載のとおり

IV 環境経営目標

IV-1 負荷の自己チェック結果表(過去3カ年実績推移)

2023年度の負荷結果は下記の通りとなっている。当社では、それぞれの項目で増減があるが、二酸化炭素排出量は基準年比-4.31%の減少となった。依然として、ガソリンの割合が高いので、今後も重点的に取り組んで行く。

		2020年度 実績(基準年)	2022年度 実績	2023年度 実績	
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年)	購入電力	60,481 (116,086kwh)	56,090 (107,659kwh)	53,679 (103,031kwh)	
	化石燃料	ガソリン	129,186 (55,644L)	113,297 (48,800L)	110,815 (47,731L)
		灯油	12,031 (4,828L)	3,090 (1,240L)	4,717 (1,893L)
		都市ガス	10,344 (4,910m ³)	13,064 (5,844m ³)	10,549 (4,719m ³)
		軽油	56,665 (21,592L)	83,250 (32,190L)	77,356 (29,911L)
	総排出量	268,707	268,791	257,116	
水(上水)m ³		1,105m ³	542m ³	1,024m ³	
産業廃棄物排出量 (一般廃棄物は除く) (t/年)	アスファルト廃材	262	345	219	
	コンクリート廃材	1,432	1,433	335	
	金属くず	28	7	14	
	木屑	25	14	10	
	廃プラ	42	26	21	
	外壁材	7	0	0	
	石こうボード	31	37	12	
	ガラスくず	13	6	6	
	紙くず	5	10	5	
	混合廃棄物(最終処分)	26	16	21	
計	1,871	1,894	643		

*軽油については、使用量の増減が激しく目標設定が難しいため、目標項目から除外しているが、全体の二酸化炭素排出量把握のため、実績はカウントしていく、

IV-2 環境経営目標

2020年度の1年間の環境負荷実績を調査し、その実績を基準値として各項目ごとに3カ年の中期目標を下記に定め、活動を開始した。年度は、当社の会計年度(前年10月～当年9月)として実施。

2023年度の目標実績については、後記V「2023年度環境経営目標・取組結果とその評価」に記載。

項目・単位			基準値	目 標		
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			19/10～'20/9	20/10～'21/9	21/10～'22/9	22/10～'23/9
CO2排出量削減	電 力	kg-CO2	60,481	60,436 0.08%削減	59,741 1.08%削減	59,220 2.08%削減
	ガソリン	kg-CO2	129,186	129,100 0.08%削減	127,800 1.08%削減	126,500 2.08%削減
	灯 油	kg-CO2	12,031	12,000 0.26%削減	11,800 1.92%削減	11,600 3.58%削減
	都市ガス	kg-CO2 (係数41.1×0.0513)	10,344	10,300 0.43%削減	10,200 1.40%削減	10,000 3.32%削減
	CO2排出量	kg-CO2	212,042	211,836	209,541	207,320
廃棄物排出量削減	一般廃棄物	kg	431	430 2020年度実績ベース	430 2020年度実績ベース	430 2020年度実績ベース
	再資源化量 総廃棄物量 (リサイクル率向上)	%	98% (1330/13474)	95以上	95以上	95以上
節 水	水道水	m3	1,105	1,000 9.51%削減	990 10.41%削減	980 11.31%削減
化学物質使用量		kg	4.804	適正管理	適正管理	適正管理
建設資材のグリーン購入	グリーン製品	t アスファルト混合物	3,954	年間数量把握	年間数量把握	年間数量把握
		t 再生クラッシュラン	420	年間数量把握	年間数量把握	年間数量把握
ECO住宅の推進、 設計に取組んだ工 事件数の把握	ECO住宅	件数	0	1	1	1

※電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度東北電力(株)の実排出係数調整後0.000521t-CO2/kwhを使用。

※都市ガスの二酸化炭素排出係数及び発熱量は次のように変更。

排出係数 0.0513(kg-CO2/MJ)、単位発熱量 41.1(MJ/Nm3)

※「化学物質使用量の把握及び適正管理」は環境経営計画で1か月に1回現場パトロール時にチェック記録して

V 2023年度環境経営目標・取組結果とその評価

2020年度の実績を基準とし、以下の目標を設定し達成できるように努力した。

2023年度は取組3年目で、2020年度(基準年)の実績ベースと比較をした。

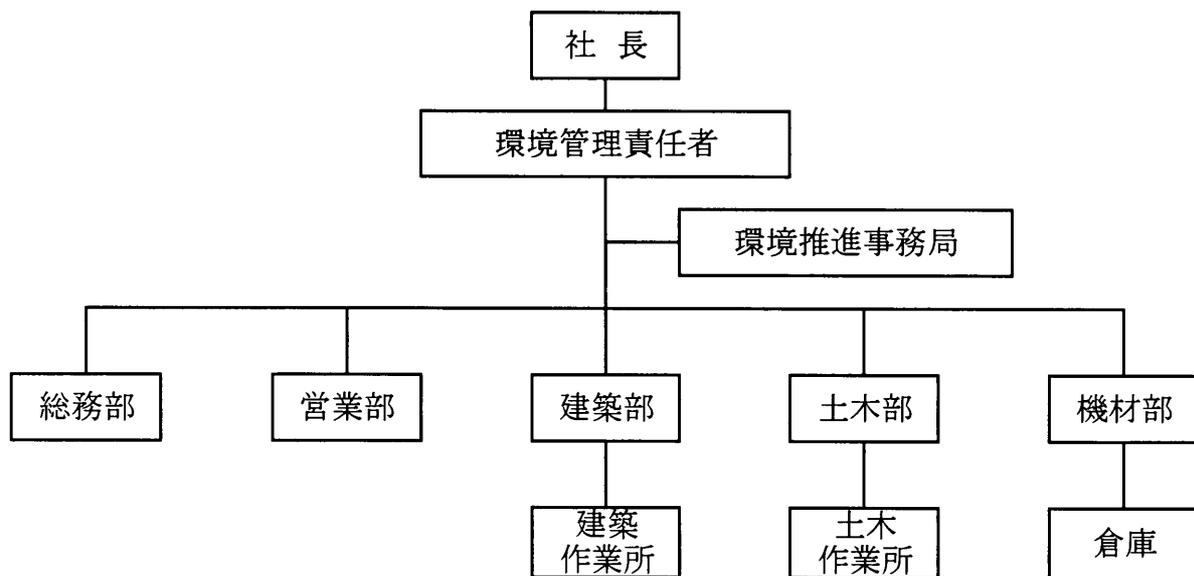
項目	単位	2020年度(基準年)	2023年度		評価	
		年間実績	年間目標	年間実績		
二酸化炭素排出量	①購入電力	kg-CO2	60,481	59,220	53,679	達成
	②ガソリン	kg-CO2	129,186	126,499	110,815	達成
	③灯油	kg-CO2	12,031	11,600	4,717	達成
	④都市ガス	kg-CO2	10,344	9,939	10,549	未達成
	⑤二酸化炭素排出量	kg-CO2	212,042	207,258	179,760	達成
廃棄物排出量	⑥一般廃棄物	kg	431	430	392.30	達成
	建設現場 ⑦産業廃棄物(リサイクル率)	%	98	95	96.70% 643/622	達成
節水	⑧水道水	m ³	1,105	1,000	1,024	未達成
	⑨化学物質使用量	kg	4.804	適正管理		達成
グリーン購入	⑩建設資材グリーン購入	t ユニソイル	3954.00	データ収集	5,108	データのみ
		t 再生クラッシュラン	420.00	データ収集	180	
EのC推進住宅	⑪ECO住宅	件数	0	0	0	—

1.購入電力……………使用量は基準年-13,055kwhとなり、二酸化炭素排出量は基準年比-11.24%の削減となった。

2.ガソリン ……社有車1台を電気自動車に入替実施したこと、また、現場での工事用車両等の稼働が少なかったこともあり、燃料消費が減少した。全体で-14.22%となり目標は達成した。

- 3.灯油 ……年間目標に対して-59.33%減少し、目標は達成。
- 4.都市ガス ……冬は寒さが厳しく、又、夏場は暑さが厳しくなった為に、基準年比+1.98%増加したため、未達成。
- 5.全項目 ……年間目標比-13.26%、基準年比-15.22%の減少となり達成した。
今後も、全員の節約意識・無駄の排除を徹底し、次年度も目標クリアを目指す。
- 6.一般廃棄物 ……目標に対して-8.77%(37.7kg)減少し、達成した。
- 7.産業廃棄物 ……産業廃棄物のリサイクル率の向上については、目標を達成。
- 8.水使用量 ……現場での使用が大幅に増加した為に、目標は未達成。
その要因は、解体・杭打設等の水を使用する工事が多かったことによる。
- 9.化学物質使用量……適正管理され、使用数量の把握をした。
- 10.グリーン購入 ……「建設資材のグリーン購入の促進」を推進し、数量の把握をした。
- 11.ECO住宅 ……ゼロ件のときは評価しない。

VI 実施体制



VII 環境経営計画

＜2023年度 環境経営計画 実施状況管理表＞

目標項目	達成手段	担当		10	11	12	1	2	3	中間チェック	4	5	6	7	8	9	年度達成状況
電力	節電運動 定時退社の励行	渡部	計画	←						朝礼・委員会等	←						現場事務所不在時は電源をOFFとし、節電に努める。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1	で周知された。	1	1	1	1	1	1
	不要照明消灯	小出	計画	←						席を離れる際の	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1	消灯が励行された。	1	1	1	1	1	1
	ウォーム・クールビズ 暖房20℃冷房28℃	小出	計画	←						暖房20℃を厳守され	←						励行された。
			実施計画			1	1	1	1	1	た。					1	1
	現場事務所不在時 電源OFF励行	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	省エネ型発電機 使用の徹底	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
ガソリン	アイドリングストップ	渡部	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	急加速・急停止の防止	渡部	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	省エネ型発電機 使用の徹底	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
工期短縮・手戻り防 止による使用量削減	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。	
		実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
事務所不在時の 暖房OFF	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。	
		実施計画			1	1	1	1	1		1						
工期短縮・手戻り防止、発注者 、業者との打合せを密にする	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。	
		実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
工期短縮・手戻り防止、発注者 、業者との打合せを密にする	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。	
		実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
都市ガス	定時退社励行 定時電源OFF	小出	計画	←						励行された。	←						ほぼできたが、7～9月
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	2	2	2
	ウォーム・クールビズ	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。
一般廃棄物	裏紙使用	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	分別・リサイクルの徹底	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
印刷物の削減	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。	
		実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
化学物質使用量	在庫管理(不要な 購入・保管の自粛)	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
産業廃棄物	発生の抑制(使用 数量の厳格化)	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	建設発生資材の再 活用(循環利用)	滝澤	計画	←						励行された。	←						現場から出る副産物は、
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
節水	節水呼びかけ	小出	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	節水(現場での散水 ・洗浄等)	滝澤	計画	←						励行された。	←						無駄な散水・洗浄を
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
建設資材のグ リーン購入	再生資材の使用促進	滝澤	計画	←						励行された。	←						励行された。
			実施計画	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
エコ住宅推進	環境配慮型工法採用 の提案	山口	計画	←							←						
			実施計画								該当なし						

※ 次年度も本年度同様の計画を継続する。

評価基準 1:できた 2:一部出来たが努力が必要 3:できなかった

Ⅷ 自己点検チェック結果

<エコアクション21 自己点検チェック結果 2023年度 第2回>

< 共 通 >

No.	チェック項目	実施状況(%)
1	冷暖房の<強・中・弱>スイッチをこまめに切り替える等、効率化を意識している	100
2	職場の照明は、昼休み・残業時等不必要なときは消灯している	100
3	使用頻度の低いトイレ等の照明・換気は普段は消灯しており、使用時のみつけている	100
4	夜間・休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切っている	100
5	ブラインドやカーテンの利用により熱の出入を調整している	100
6	使用していない部屋の空調は停止している	100
7	夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)をして、冷暖房の使用を抑えている	98.5
8	両面機能を活用したコピーを徹底している	87.8
9	使用済み用紙(裏紙)で活用できる紙は、可能な限り再利用している	93.8
10	使用済み封筒を再利用している	87.8
11	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピー防止のため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ずリセットし節電状態にしている	95.4
12	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している	100
13	紙・プラスチック・紙容器・電池・もやせないゴミの分別を徹底している	100
14	エコドライブ運転を励行している(急発進・急加速・空ぶかしの排除、駐停車中のエンジンの停止等)	98.5
15	タイヤの空気圧を定期的に確認し、適性値を保つように努めている	90.8
	計	96.8

< 現 場 >

No.	チェック項目	実施状況(%)
1	計画性向上により工期の短縮、手戻り防止に努め、ガソリン・軽油等の使用量の削減に繋げている	87.9
2	使用重機等は、排ガス対策型・低騒音型・省エネ型の機種を使用する	93.9
3	建設機械のアイドリングは禁止している	93.9
4	環境負荷低減のための施工推進	93.9
5	使用資材、極力再生資材を使用し、現場から出る副産物は循環使用を促進する	100
6	現場のゴミの分別を徹底している	97.9
7	節電に努めている(事務所不在時はOFF)	100
8	節水(散水、洗浄等)に努めている	95.9
9	現場周辺のゴミや空き缶等を集め、周辺の美化を行っている	100
10	作業箇所、資材置き場の整理整頓をしている	100
	計	97.3

社員全員を対象に定期的に、上記項目について各自で取組み状況をチェックして、意識の高揚と環境に配慮しているが、100%を達成していない項目もあるので、今後も励行を呼びかけて行く。

IX 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	
下水道法	家電リサイクル法
悪臭防止法	小型家電リサイクル法
騒音規制法	PRTR法
振動規制法	上越市地域消防事務組合 火災予防条例
上越市生活環境の保全等に関する条例	建築基準法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	労働安全衛生法
資源の有効な利用の促進に関する法律	大気汚染防止法
建設リサイクル法	フロン排出抑制法
自動車リサイクル法	グリーン購入法

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱は無く、違反や訴訟もありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

【 総評 】

各人のCo2削減についての意識も定着し、システムは有効に機能している。今後は、より現場での適正使用に留意し、削減努力を継続していく。

【 環境経営方針 】

引き続き、環境経営方針の基本理念に「SDGs」を掲げ、環境負荷低減の取組みを継続していく。

【 目標・環境経営活動計画 】

- ・3か年の中期計画が終了：全体では、目標を達成できた。
- ・電力、ガソリン、灯油、一般廃棄物、産業廃棄物については目標を達成。
- ・都市ガスについては、冬・夏の寒さ、暑さが厳しく目標達成はできなかった。
- ・水については、解体・杭打設工事が多かったため使用量が増加し、目標は達成できなかった。

【 その他の環境経営システムの各要素 】

環境経営計画における実施状況については、評価基準を設定し、評価方法を具体化した。

【 実施体制 】

変更の必要なし